



安心・安全なまちづくりのために！防災無線のデジタル化

4月8日（火）、デジタル防災行政無線・戸別受信機・地域コミュニティ無線の運用開始式が行われました。

これは、東日本大震災を契機に防災対策の必要性が増したことを受け、アナログからデジタル防災無線への更新とともに難聴地域解消を目的に整備されたものです。

町内の70か所の屋外無線をデジタル化し、戸別受信機約5,800台が各世帯や公共施設、事業所、避難所などに設置されました。

東町長は、「今回の整備を防災に役立て、戸別受信機の機能を最大に活かし、災害から住民の命を守りたい。」と話されました。



▲運用が開始されたデジタル防災行政無線



『いかのおすし』で防犯対策！防犯下敷き寄贈

4月15日（火）、志布志地区金融機関防犯協議会（会長：枝松伸夫さん）から4月に入学した町内6小学校の新学期児童に対し、防犯標語『いかのおすし』入りの下敷きが寄贈されました。

これは、春の地域安全運動の一環で地域の防犯意識の高揚を図るために行われたもので、1年生を代表して、久保賀渚さん・松元凛斗くん（大崎小学校）が、「ありがとうございます。」と元気な声で下敷きを受け取りました。

【いかのおすし】とは、知らない人について**い**かない。他人の車に**の**らない。**お**おごえをだす。**す**ぐ逃げる。**す**ぐ**し**らせる。の意味です。



▲枝松会長から下敷きが寄贈されました



1年間よろしくお祈いします！自治公民館長研修会

4月25日（金）、町中央公民館において、『平成26年度大崎町自治公民館長研修会』が開催されました。

研修会では、多年（10年・5年表彰）にわたり自治公民館長を努められ、集落の中心的役割を担ってくださった6名の表彰に続き、月2回行われる集落発送等の文書配布や、がんばる地域応援交付金などの提出書類、地域の皆さんと行政とを繋ぐための協力依頼などが行われました。

東町長は、「表彰を受けられた方々に対し、感謝を申し上げるとともに、自治公民館長の皆さまは行政と地域を繋ぐパイプ役となりますので、今後ともご協力をお願いいたします。」と話されました。



▲自治公民館長研修会の様子